

たきおっ子

～一人一人が輝き、「笑顔」あふれる滝尾小～

御船町立滝尾小学校 学校だより

第3号 令和2年4月17日(金)

たきおっ子の生活信条:

「たのしく、きたえて、おおらかに」

学級数7、在籍児童数:56名

文責:(校長)河地浩太郎

マスクが外れる日を願って

新学期がスタートできたと思った矢先の臨時休校(4/14)から最初の登校日を本日迎えました。学校に来る日の間が空いてしまっているのも、子どもたちもなかなか生活のリズムができにくいのではないかと思います。特に、新一年生は、学校に歩いて来たのが2日しかなく、登下校もややきついのではないかと思います。昨日のニュースによると、緊急事態宣言が全都道府県に拡大されるとの報道があり、コロナの終息にはまだまだ時間がかかりそうです。この非常事態をみんなで乗り越え、早くマスクが外れる日まで頑張っていきましょう。

「3密」避けてコロナ対策を!

くどいようですが、以下の三つの「密」を避けるようにしましょう。

★「換気が悪い密閉空間」

⇒こまめに換気を!



★「多数が集まる密集場所」

⇒多数の人が集まらない工夫を!

★「間近で会話や発声をする密接場面」

⇒距離を考えての会話を!

●これに加えマスクの着用・手指消毒の徹底を

今こそ自主学習できる力の育成を

臨時休校中は、子どもたちは家庭で学習をしなければなりません。しかし、新学期が始まったばかりで、何をどのように学習すればよいか、なかなか考えるのが大変だと思います。そこで、滝尾小では学習計画表を配布し、少しでも自主学習が進められるようにしています。本日も来週(4/20～4/24)の分を配布しました。それぞれの学年に応じた計画を立ててあったり、または自分で立てるようにしています。自学の習慣が身についていけばと思います。

「パワーアッププログラム 元気 滝尾っ子大作戦」

休校中で学習以外で心配な事がもう一つあります。それは、子どもたちの体力維持です。室内に居る時間が多くなると、どうしても運動不足になってしまいます。その対策として、本年度から滝尾小の体育主任になった山本先生が「家庭でできる運動」について紹介したプリント作成しました。本日配布していますので、ご家庭でもぜひ活用してください。



シリーズ滝尾の歴史②「下鶴橋」

国道445号線沿いの下鶴地区にある石橋です。この石橋の建設を指揮したのは、八代東陽村の石工橋本勘五郎(丈八)の二男弥熊(やくま)でありました。

明治15年(1882年)に下鶴橋建設組合が結成され、約四年の月日をかけて完成しました。

建設にかかった費用は、2,528円31銭1厘とのこと。当時の小学校の校長の月給が8円だったそうで、いかに費用がかかったかがわかります。そして、この橋は次のような3つの特徴があります。

(その1) 鞘(さや)石垣

(その2) 丸型の手すり

(その3) 親柱に彫ってある盃や徳利

満月と三日月

そのどれもが当時の石橋建築の技術の粋をこらしたもののようです。この橋は、昭和43年5月にその役目を終えたそうですが、これまでの保存により、今でも当時の姿を今に伝えていきます。ぜひみなさんもゆっくり眺めてはいかがでしょうか。

※資料「御船風土記」(S62.1御船町教育委員会)より

生活アンケートで心のケアを

学校に居る私たちは、家庭で過ごしている子どもたちの様子を知らなかなかにできません。おそらく、いろいろな不安やストレスもあるのではないかと思います。そこで、本日、子どもたちに簡単なアンケートを行い、家庭での状況を把握し、それを心のケアに活かすようにしました。

ご家庭でも、お子様のことで心配なことがありましたらぜひ学校にご連絡ください。



【ミニミニ国語コーナー】 先週号の漢字の読み方です。

はなびえ はざくら しんりよく ひばり
花冷え 葉桜 新緑 雲雀

はるがすみ つつじ
春霞 躑躅

※校長室の前の植込みの躑躅が随分

咲きました。新緑も鮮やかです。

登校日が中止に!

別紙でお知らせしてまいりましたとおり、登校日(4/24,5/1)が中止となりました。それに伴い、4/24実施予定の体位測定も休校明けに延期します。